内蔵ハードディスク

ハードディスク ユーザーズマニュアル & 付属 CD の使いかた

第一部　ハードディスクユーザーズマニュアル

第二部　付属 CD の使いかた

137GB 以上の製品をお買い上げの方へ【WindowsXP/2000 のみ】

137GB 以上の製品をお買い上げになった場合は、P7 を参照して必ず付属のユーティリティを実行してください。インストールしないと、データが破損・消滅する恐れがあります。

付属 CD に収められたユーティリティ「DriveImage」および「PartitionMagic」のインストール中にシリアル番号を要求されたら下の文字をすべて入れてください。
大文字小文字も下の通り区別して入れて下さい。

DriveImage:
PartitionMagic:

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク..................... ⚠注意 に続く説明文は、製品を取り扱う際に特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク........... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　A: フロッピーディスクドライブ、C: ハードディスク、E:CD-ROM ドライブ
・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
・本中 < > で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。　（例）　<Enter> キー
・Microsoft 社 Windows 98 Second Edition を「Windows98SE」と表記しています。
・Microsoft 社 Windows Millennium Edition を「WindowsMe」と表記しています。
・MS-DOS と PC DOS を合わせて「DOS」と表記しています。
・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは 1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
　・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
　・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意）が描かれています。
	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

禁 止

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特に CPU や VGA チップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチを OFF にした後、30 分以上たってから作業することをおすすめします

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり､強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチを OFF にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

⚠注意

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて､身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強 制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは､各マニュアルをよく読んで､各メーカーの定める手順に従ってください。

強 制

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチが ON の状態で、ケーブルの抜き差しをしないでください。

本製品および周辺機器の故障の原因となります。

強 制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強 制

本製品の取り付け／取り外しや､ソフトウェアをインストールするときなど､お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータを MO ディスク､フロッピーディスク等にバックアップしてください 。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（MO ディスク 、フロッピーディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき

・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき

・故障、修理などのとき

・パソコンの電源スイッチを OFF にした直後に、すぐに電源スイッチを ON にしたとき

・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界や静電気が発生するところ

・直射日光が当たるところ

・ほこりの多いところ

・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ

・振動が発生するところ

→けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ

→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・火気の周辺、または熱気のこもるところ

→故障や変形の原因となります。

・漏電または漏水の危険があるところ

→故障や感電の原因となります。

強制

ドライブベイ用ブラケットは慎重に取り扱ってください。
ブラケットの角などで、手を傷つける恐れがあります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

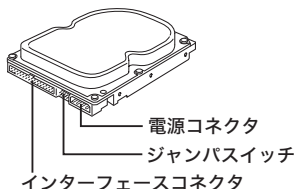
第一部　ハードディスクユーザーズマニュアル

1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

パッケージの内容

パッケージには次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●ハードディスク（本体）............................... 1 台

●ハードディスク取り付けネジ
（ユニファイネジ）... 4 本

●スイッチ設定シート..................................... 1 枚

●ハードディスクユーティリティ（CD-ROM)..1 枚

※ 便利なユーティリティが収録されています。

●ハードディスクユーザーズマニュアル＆付属CD の使いかた（本書）.................................. 1 冊

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

メモ　HD-FB シリーズをお買い求めの場合、上記の他に 5 型ドライブベイへ取り付けるためのブラケット 1 個と、取り付けネジ (M3 ワッシャ付き)4 本が付属しています。

必ずお読みください

付属のユーティリティ CD は、オンラインマニュアル（PDF ファイル）が収録されています。オンラインマニュアルには再フォーマットの方法などが記載されています。必ずお読みください。

●本製品のマニュアル (PDF ファイル) の読みかた

①読むマニュアルを選択します。　②クリックします。

※ Macintosh の場合は、ユーティリティ CD の [Manual] フォルダ内にある PDF ファイルをダブルクリックしてください。

※ PDF ファイルを読むには、パソコンに Acrobat Reader がインストールされている必要があります。インストールされていないときは、表示される画面のメッセージに従ってインストールしてください。また、簡単セットアップからもインストールすることができます（Macintosh の場合は、ユーティリティ CD の [Acrobat] フォルダ内にある [ar505jpn.exe] をダブルクリックし、Acrobat Reader をインストールしてください）。

※ Acrobat Reader の使いかたは、Acrobat Reader のメニュー ［ヘルプ］ - ［Reader のヘルプ］を選択し、ヘルプを参照してください。

※ 画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

137GB 以上の製品をお買い上げの方へ

137GB 以上の製品をお買い上げの場合、以下の手順が必要となります。

WindowsXP/2000

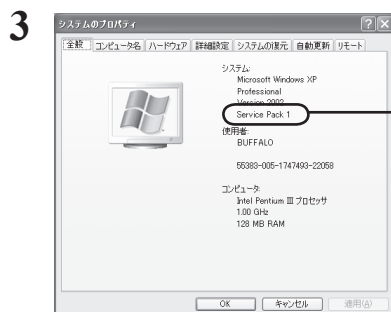
※ 以下の手順を行わないと、データが破損・消滅する恐れがあります。必ず以下の手順を行ってください。
※ OS を新規にインストールする場合は、OS のインストール後に以下の手順を行ってください。

■サービスパックの確認をする

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。**

2 **[スタート] メニュー内（Windows2000 の場合はデスクトップ）の [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] クリックをします。**

プロパティ画面が表示されます。

3

WindowsXP の場合は「Service Pack 1」以上、Windows2000 の場合は「Service Pack 3」以上が表示されていることを確認してください。

表示されていない場合は、Windows Update(http://windowsupdate.microsoft.com/) からインストールしてください。

■ユーティリティを実行する

1 **パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。**

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、[マイ コンピュータ] 内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **「137GB 以上の製品をご購入の方へ」を選択し、[開始] をクリックします。**

以降は画面の指示に従って実行してください。

次へ 「第 2 章 取り付け」(P8) に進みます。

WindowsMe/98SE/98/NT4.0、Macintosh

必要な手順はありません。「第 2 章 取り付け」（P8）へ進んでください。

2 取り付け

本製品をパソコンに取り付ける手順を説明しています 。

取り付ける前に

確認すること

- 大切なデータを守るため、パソコンの電源スイッチを OFF にする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスクなどに記録されているデータを他のメディア（MO ディスクなど）に保存してください。
- パソコンおよびハードディスクは精密機器です。巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意、各種設定、スイッチ設定については、各機器に付属のマニュアルを参照してください。
- 取り付けの前に用意するもの
  - ・パソコンおよび周辺機器のマニュアル
  - ・本製品および付属品
  - ・ドライバーなどの工具
- 本書では、ハードディスクを DOS/V 機の 3.5 型ドライブベイに取り付ける場合の例を説明しています。
  機種によって手順が異なるので、必ずパソコンのマニュアルを参照してください。

メモ DOS/V 機の 5 型ドライブベイに本製品を取り付けるときは、弊社製ハードディスク取付金具 DBN-V が必要です (HD-FB シリーズには標準添付されてます)。また、NEC 製 PC98-NX シリーズに本製品を取り付けるときは、別売の弊社製ハードディスク取付金具 DBN-NXS（デスクトップ型用）または DBN-NXM（ミニタワー型用）が必要になることがあります。取り付け手順は、ハードディスク取付金具のマニュアルを参照してください。

PC98-NX シリーズを使用している場合

CyberTrio-NX がインストールされている機種（※）では、CyberTrio-NX をアドバンストモード以外のモードで使用していると、フォーマットができなかったり、ユーティリティがインストールできなかったりすることがあります。ハードディスクを接続する前に必ずアドバンストモードに変更してください。

※ CyberTrio-NX がインストールされていると、タスクバーにインジケータ が表示されます。

メモ CyberTrio-NX のモードの確認方法

タスクバーに表示されている CyberTrio-NX のインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

取り付け手順

ここで説明する取り付け手順は一例です。パソコンのマニュアルも併せて参照してください。

メモ パソコン内蔵のハードディスクと本製品を入れ替える場合や、付属ソフト「DriveImage」を使用する場合は、本製品を取り付ける前に、第二部「付属CDの使いかた」も併せて参照してください。

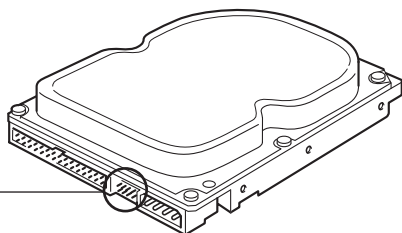
ジャンパスイッチの設定

ハードディスクを接続する前に、ジャンパスイッチを設定します。設定方法は、別紙「スイッチ設定シート」を参照してください。

ジャンパスイッチ

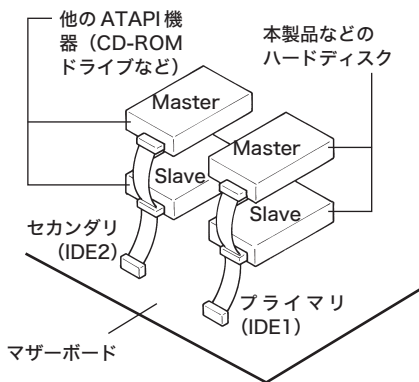
ここでMasterまたはSlaveに設定します。

● Master の設定
起動ドライブにするハードディスクはMaster に設定します。ハードディスクを 1 台だけ接続するときも Master に設定します。

● Slave の設定
起動ドライブにしないハードディスクは Slave に設定します。

※製品によってイラストと形状が異なることがあります。

メモ
・2 台の機器を 1 本のフラットケーブルに接続するときは、必ずどちらか一方の機器を Master、もう一方の機器を Slave に設定してください。
・ハードディスクとハードディスク以外の ATAPI 機器（CD-ROM ドライブや DVD ドライブなど）を併用するときは、異なるフラットケーブルに接続することをおすすめします。同じフラットケーブルに接続すると、システムの動作が不安定になることがあります。

<接続イメージ>

2
取り付け

次のページへ続く

パソコンへの取り付け

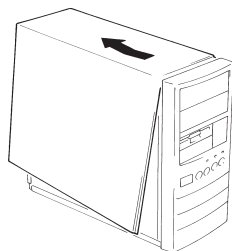
ハードディスクをパソコンの 3.5 型ドライブベイに取り付ける手順を例に説明します。

⚠注意 作業するときは、必ずパソコン、ケース、マザーボードなどのマニュアルを参照してください。

1 別紙「スイッチ設定シート」を参照して、ハードディスクのジャンパスイッチを設定します。

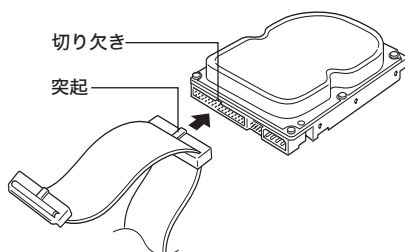
2 パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをすべて OFF にし、ケーブル類を取り外します。

トップカバー（ネジ止め）を取り外します。

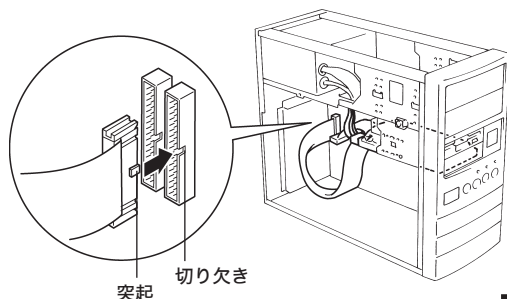
⚠注意 パソコンと周辺機器の電源スイッチは必ず OFF にしてください。

3 パソコン側に付属のフラットケーブルを、ハードディスクに接続します。

フラットケーブルの突起とコネクタの切り欠きを合わせてください。

⚠注意 フラットケーブルを取り外すときは、まっすぐにゆっくりと取り外してください。斜めに取り外すと、コネクタが破損することがあります。

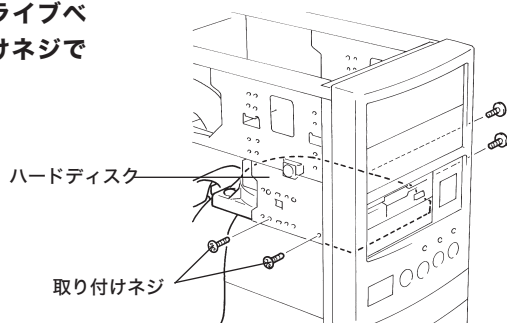
※製品によってイラストと形状が異なることがあります。

フラットケーブルがマザーボードに接続されていない場合

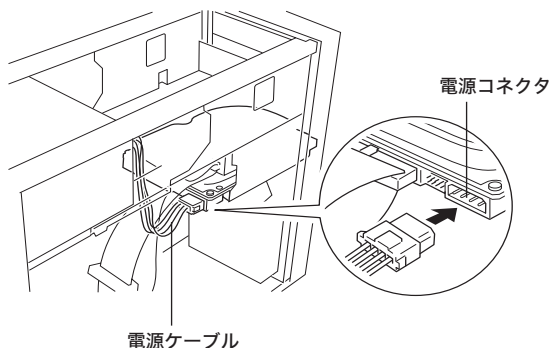
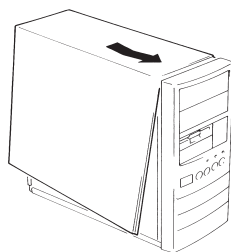
1 フラットケーブル（弊社製 DKV-AT100 など）を別途用意し、ハードディスクに接続します。

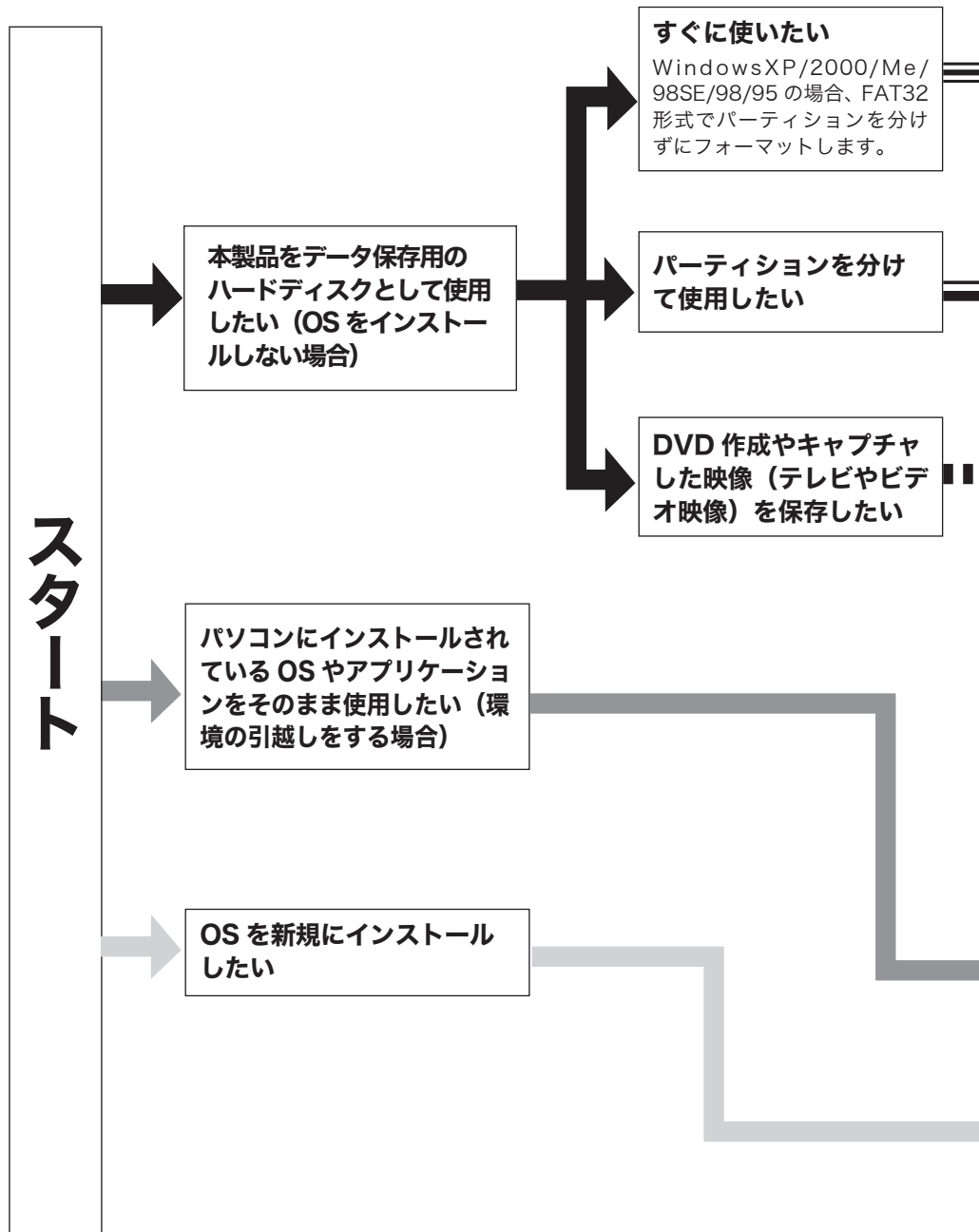
2 ハードディスクに接続したフラットケーブルを、マザーボードに接続します。
フラットケーブルの突起とコネクタの切り欠きを合わせてください。

次のページへ続く

4 **ハードディスクを 3.5 型ドライブベイに挿入し、付属の取り付けネジで固定します 。**

ハードディスク

取り付けネジ

5 **パソコンの電源ユニットから出ている電源ケーブルのコネクタを、ハードディスクの電源コネクタに接続します。**

コネクタの切り欠きを合わせて接続してください。

6 **トップカバー、ケーブル類、周辺機器を元どおり取り付けます。**

取り付けが終わったら

以降の手順は本製品の使用方法によって異なります。使用方法ごとに以下のページを参照してください。

本書

データ保存用として使用する【P14】

付属 CD

付属 CD に収録のオンラインマニュアルを参照してください
【オンラインマニュアル「第 1 章 フォーマット（初期化）」】

付属 CD

WindowsXP/2000 を使っている

付属 CD に収録のオンラインマニュアルを参照してください
【オンラインマニュアル「DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルの容量が 4GB を超える可能性がある）場合【WindowsXP/2000 のみ】」】

本書

WindowsMe/98SE/98/95/NT4.0、Macintosh を使っている

データ保存用として使用する【P14】

※ WindowsMe/98SE/98/95 をお使いの場合、1 ファイルの最大容量は 4GB となります。

本書

パソコン内蔵のハードディスクと入れ替える【P24】

本書

OS をインストールする【P32】

2

取り付け

データ保存用として使用する

本製品を増設ドライブとして使用するための方法を説明しています。

- 137GB以上の製品をお使いの方へ（WindowsXP/2000のみ）
  以下の手順を行う前に添付のユーティリティを必ず実行してください【「137GB以上の製品をお買い上げの方へ」（P7）】。添付のユーティリティを実行せずに以下の手順を行うと、ファイルが破損・消滅する恐れがあります。

- WindowsXP/2000/Me/98SE/98/95をお使いの方へ
  本製品をフォーマットしたことがある（再フォーマットする）場合は、オンラインマニュアルを参照してください。以下の手順は、初めてフォーマットを行う場合の手順です。

本製品を増設ドライブとして使用される方へ

本製品を増設用ドライブとして使う場合、フォーマット（初期化）する必要があります。フォーマットの手順は、OSごとに手順が異なります。以下に記載の手順でフォーマットしてください。

フォーマットするときの注意

- フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

- フォーマット後、ハードディスクが認識されない、または、パソコン本体が起動しないときは、パソコンの電源をOFFにして､各ケーブルが正しく接続されているか確認してください。ケーブルの接続に問題がない場合は、パソコン搭載のBIOSが、8.4GB以上または32GB以上または137GB以上の容量のハードディスクに対応していない可能性があります。8.4GB以上または32GB以上または137GB以上の容量のハードディスクに対応しているかどうか、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

- WindowsXP/2000/Me/98SE/98/95をお使いの場合、ワンクリックフォーマッタを使用できるのは最初の１回のみとなります。２度目以降のフォーマットの場合は､オンラインマニュアルを参照してください。

WindowsXP/2000/Me/98SE/98/95

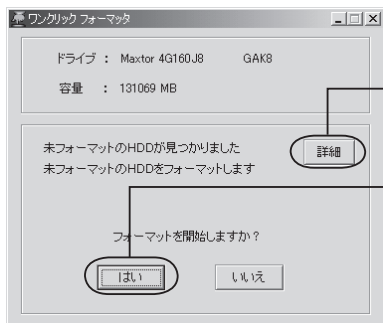
最も簡単にフォーマットを行う方法が「ワンクリックフォーマッタ」です。
ただし、「ワンクリックフォーマッタ」では起動ドライブは作れません。取り付け後、最初の 1 回のみ実行可能です。
2 回目以降のフォーマットは、オンラインマニュアルを参照してください。

メモ 「ワンクリックフォーマッタ」でのフォーマット形式は、FAT32 形式（1 パーティション）となります。ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用する場合や、DVD 作成やキャプチャを行う場合（WindowsXP/2000 のみ）は、オンラインマニュアルを参照してください。

1　パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。

2　「簡単セットアップ」が起動したら、「ワンクリックフォーマッタを実行」をクリックし、[開始] をクリックします。

「簡単セットアップ」が起動しない場合は、[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[CD-ROM] アイコンをダブルクリックしてください。

3

※ ワンクリックフォーマッタの説明が表示されます。

4　「フォーマットしたハードディスクは再起動後に有効になります。Windows を終了しますか？」と表示されたら、[OK] をクリックします。

※フォーマット終了後、パソコンが再起動します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックします（WindowsXP の場合は、[スタート] − [マイコンピュータ] の順にクリックします)。マイコンピュータに本製品のアイコンが追加されていることを確認してください。追加されていれば、正常に動作しています。

A
データ保存用として使用する

WindowsNT4.0

WindowsNT4.0 でのフォーマット手順を説明します。

⚠注意 **フォーマットするときは、必ず WindowsNT4.0 のマニュアルを参照してください。**

メモ 本製品に WindowsNT4.0 をインストールする場合、インストールの途中で本製品がフォーマットされます。事前にフォーマットする必要はありません。WindowsNT4.0 のマニュアルに従って、WindowsNT4.0 をインストールしてください。

1 周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にし、WindowsNT4.0 を起動します。

2 [スタート] ─ [プログラム] ─ [管理ツール (共通)] ─ [ディスクアドミニストレータ] を選択します。

⚠注意 **表示されたドライブ構成を把握してから作業してください。誤って他のハードディスクをフォーマットしないように注意してください。**

本製品を新たに増設した場合

「システム構成を更新します。」と表示されます。[OK] をクリックします。

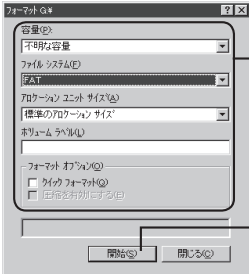
3 [ディスクアドミニストレータ] が起動します。本製品のドライブをクリックします。

4 パーティションを作成します。

WindowsNT4.0 以外の OS にもパーティションを認識させたいときは、パーティションサイズを 2047MB 以下の FAT 形式にしてください。

プライマリパーティションを作成する場合

本製品を起動用にするときは、必ずプライマリパーティションを作成してください。本製品を起動用にしないときは、拡張パーティションだけを作成してください。

⚠注意 **プライマリパーティションから優先してドライブ名が割り当てられるため、起動ドライブ以外のハードディスクにプライマリパーティションを作成すると、今まで使用していたハードディスクのドライブ名が変更されることがあります。**

1 [パーティション] ─ [作成] を選択します。

2 任意のパーティションサイズを入力して [OK] をクリックします。

拡張パーティションを作成する場合

本製品を起動用として1ドライブだけで使用する場合は、拡張パーティションを作成する必要はありません。

1 ［パーティション］－［拡張パーティションの作成］を選択します。

2 パーティションのサイズを確認し、［OK］をクリックします。

3 作成された空き領域を選択し、［パーティション］－［作成］を選択します。

4 任意のパーティションサイズを入力し、［OK］をクリックします。

5 メニューバーから［パーティション］－［今すぐ変更を反映］を選択します。

6 「ディスク構成を変更しました。変更結果を保存しますか？」と表示されたら、［はい］をクリックします。

7 「ディスクは正常に更新されました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

8 フォーマットするパーティションを選択した後、メニューバーから［ツール］－［フォーマット］を選択します。

9

- WindowsNT4.0だけで本製品を使用するときは、［NTFS］を選択してください。
- マルチブート環境などでWindowsNT4.0以外のOSにも認識させたいときは、［FAT］を選択してください。ただし、この場合は、手順4でパーティションサイズを2047MB以下にしておく必要があります。

10 「フォーマットが完了しました。」と表示されたら、［OK］をクリックします。

以上でWindowsNT4.0でのフォーマットは終了です。

メモ 正常にフォーマットされると、本製品がドライブとして認識され、作成した領域が［マイ コンピュータ］に新しいドライブとして追加されます。

A

データ保存用として使用する

Mac OS 8.6 ～ 9.2

Mac OS 8.6 ～ 9.2 で、ハードディスクを Mac OS 拡張フォーマットで初期化する手順の概略を説明します。

⚠注意 フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。

1 **<caps lock> キーが押し込まれていないことを確認します。**

2 **Macintosh 付属の「ソフトウェアインストール CD」を使ってパソコンを起動します。**

3 **ソフトウェアインストール CD の中にある［ユーティリティ］フォルダを開きます。**

4 **［ドライブ設定］アイコンをダブルクリックします。**

5 **ドライブの一覧からフォーマット（初期化）したいディスクを選択します。**

6 **［初期化 ...］をクリックします。**

7 **［カスタム設定 ...］をクリックします。**

8 **［パーティション］メニューを開き、パーティションの数を選択します。**

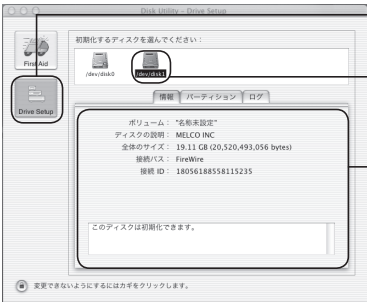
9 **［ボリューム情報］の［タイプ］メニューを開き、［Mac OS 拡張］を選択します。**

10 **ボリューム（パーティション）のサイズ（容量）を設定します。**

11 **［OK］をクリックします。**

12 **［初期化 ...］をクリックします。**

以上でフォーマットは完了です。

メモ フォーマットが正常に完了すると、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。

Mac OS X 10.0 ～ 10.2

ハードディスク全体のフォーマット

Mac OS X の Disk Utility を使って、ハードディスクをフォーマットします。

⚠注意 フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。

1 **Mac OS X の CD-ROM を使ってパソコンを起動します。**

2 **アップルメニューの [Installer]-［Disk Utility を開く］を選択します。**

3

4

※ 設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

5

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

メモ フォーマットが正常に完了すると、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。

一部パーティションのパーティションタイプを変更する

一部のパーティションを現在のパーティションタイプから変更したいときは、次の手順でそのパーティションを再フォーマットしてください。

⚠注意 フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。

1 Mac OS X の CD-ROM を使ってパソコンを起動します。

2 アップルメニューの [Installer]-［Disk Utility を開く］を選択します。

3

4 [オプション] メニューから [ディスクの消去] を選択します。

5

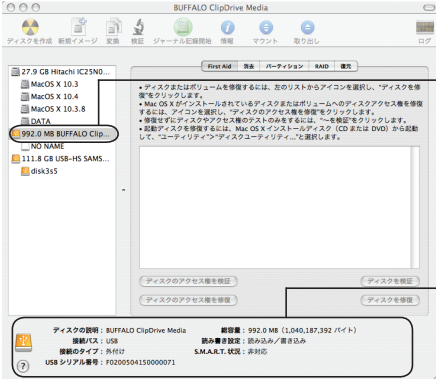
以上でパーティションの再フォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

メモ フォーマットが正常に完了すると、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。

Mac OS X 10.3 以降

Mac OS Xのディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**
- **ここでは、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。**

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3

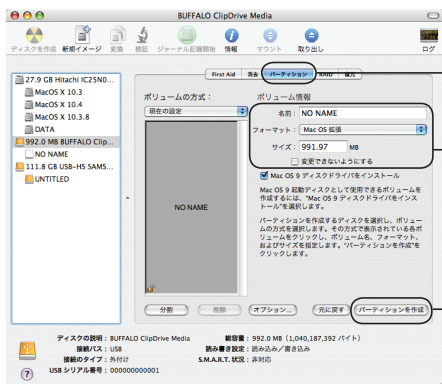
[ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
[ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

A

データ保存用として使用する

※フォーマットする製品の容量によって、ボリューム情報のフォーマットで選択する項目が異なります。以下の項目を選択してください。

- フォーマットする製品が 1.1 ＧＢ以上の場合
  ［Mac OS 拡張］を選択します。
- フォーマットする製品が 1.1GB 未満の場合
  ［ Mac OS 拡張］または［Mac OS 標準］を選択します。

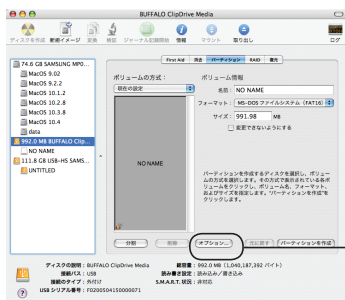
ボリューム情報を設定できないときは？（MacOS X 10.4 以降のみ）

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1

［オプション］をクリックします。

2

Apple 以外のハードウェアに接続する可能性のあるリムーバブルメディアまたは外部ドライブの場合は、パーティションマップを"PC パーティション方式"に設定できます。デフォルトは"Apple パーティション方式"です。

①［Apple パーティション方式］を選択します。

②［OK］をクリックします。

6

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

A

データ保存用として使用する

パソコン内蔵のハードディスクと入れ替える

現在お使いのハードディスクのデータを本製品に移し、パソコンのハードディスクと本製品とを交換する場合の方法を説明しています。

以下の手順は Macintosh に対応していません。Macintosh をお使いの場合は増設ドライブとして使用するか、新規に OS をインストールしてください。

はじめに

本製品に付属の「DriveImage」を使用して、パソコン内蔵のハードディスクのデータをそのまま本製品にコピーし、パソコンのハードディスクと本製品とを入れかえる場合の手順を説明します。また、一部のパーティションだけをコピーすることも可能です。

DriveImage の概要

● できること

- ハードディスクの内容をそのまま他のハードディスクにコピーできます。
- 一部のパーティションだけを選んでコピーすることも可能です。
- Windows や DOS で使用しているファイルシステム（FAT、FAT32、NTFS）のパーティションをコピーできます。
- ハードディスク上のシステムファイルを使用することなく、確実に動作します。

詳しい操作方法は、付属 CD に収録されている DI5.PDF ファイルを参照してください。

● 動作環境

- 対応機種：　DOS/V 機、PC98-NX シリーズ
- 対応 OS（※）:WindowsMe（Millennium Edition）/98SE（Second Edition）/98/95
  WindowsXP/2000/NT4.0（SP4 以降）
- CPU:　Intel486 以上
- メモリ：　32MB 以上（6GB 以上の FAT32 パーティションでは 48MB 以上）
- ハードディスクの空き容量：　26MB 以上

※ マニュアル（PDF ファイル）中には OS/2 や Linux の記述がありますが、本製品では動作保証していません。あらかじめご了承ください。

⚠注意
- **SCSI BIOS を搭載していない SCSI インターフェース（ノートパソコン用 PC カード、弊社製 IFC-NSP、Adaptec 製 AHA-2910B など）に接続したハードディスクに対しては、DriveImage を使用できません。**
- **USB/IEEE1394 シリアルバスで接続したハードディスクに対しては、DriveImage を使用できません。**
- **Windows2000 を使用している場合、DriveImage のパーティションを非表示にする機能が働きません。DriveImage 上でパーティションを非表示に設定しても、Windows2000 上ではそのパーティションが表示されます。**

次のページへ続く

DriveImage のインストール

137GB 以上の製品をお使いの方へ（WindowsXP/2000 のみ）

以下の手順を行う前に添付のユーティリティを必ず実行してください【「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」(P7)】。添付のユーティリティを実行せずに以下の手順を行うと、ファイルが破損・消滅する恐れがあります。

● インストール方法は、2 種類 (フロッピーディスクへインストールする方法 / ハードディスクへインストールする方法) あります。フロッピーディスクにインストールする場合は、事前に 1.44MB でフォーマットしたフロッピーディスクを 3 枚用意してください。

⚠注意 **DriveImage の PDF マニュアルには、「DriveImage を CD から起動する」という内容がありますが、この CD-ROM からは起動できません。あらかじめご了承ください。**

フロッピーディスクにインストールする方法

1 パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、[マイ コンピュータ] 内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 「DriveImage のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

3 [緊急ディスクの作成] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。
※シリアル番号の入力が要求されたときは、本書の表紙に印刷されている番号を入力してください。

次のページへ続く

ハードディスクにインストールする方法

⚠注意 **ハードディスクにインストールした場合は、次のパソコン起動時のみ自動的に DOS モードに入り、DriveImage が起動します。**

1 パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、［マイ コンピュータ］内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 「DriveImage のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

3 [インストール] をクリックします。

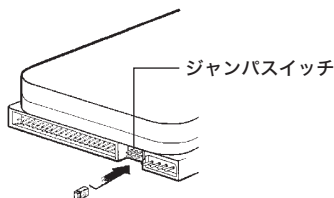
以降は画面の指示に従ってインストールしてください。
※シリアル番号の入力が要求されたときは、本書の表紙に印刷されている番号を入力してください。

DriveImage の使用例

コピーする前に

⚠注意 WindowsXP/2000 のダイナミックディスクはコピーできません。

● 事前に、コピー先のハードディスクをパソコンに取り付けておいてください。
また､コピー先のハードディスクは､コピー時に自動的にフォーマットされます。事前にフォーマットする必要はありません。

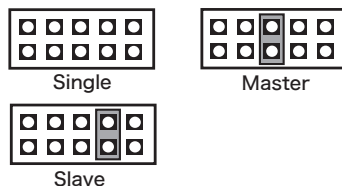
● IDE ハードディスクから IDE ハードディスクにコピーする場合は、コピー元のハードディスクが［Master］に設定されていることを確認してください。［Single］に設定されていると、Slave に接続した IDE ハードディスクが認識されません。通常は［Master］と［Single］は同じ設定のため、設定を変更する必要はありません。

弊社で確認できている［Master］と［Single］の設定が異なるハードディスクは、次のとおりです。

※ スイッチ設定の詳細は、各ハードディスクメーカのホームページを参照してください。

Western Digital 社	http://www.wdc.com/
Seagate 社	http://www.seagate.com/
Maxtor 社	http://www.maxtor.com/

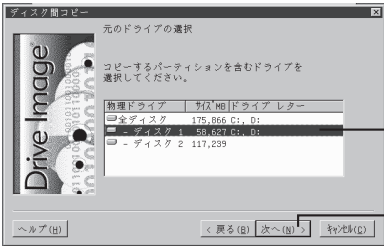
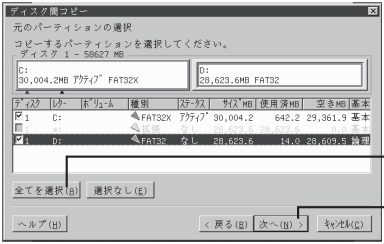
メーカー名 / 型番	
Western Digital 社製 WD シリーズ	Single Master Slave

B

パソコン内蔵のハードディスクと入れ替える

次のページへ続く

データをコピーする

⚠注意　**WindowsXP/2000/NT4.0 のインストールされている IDE ハードディスクから SCSI ハードディスクにコピーするときは、事前にコピー元の IDE ハードディスクに SCSI インターフェースボードのドライバを組み込んでおいてください。**

1 DriveImage のインストール時に作成した「緊急ディスク 1」をフロッピードライブに挿入し、周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。

DriveImage をハードディスクにインストールした場合は、そのまま周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にし、[スタート]-[(すべての) プログラム]-[PowerQuest DriveImageDOS] をクリックします。クリックしたら手順 4 へ進んでください。

2 「Insert Drive Image Disk2」というメッセージが表示されたら、「緊急ディスク 2」をフロッピードライブに挿入し、<Enter> キーを押します。

3 「Please insert the next diskette」というメッセージが表示されたら、「緊急ディスク 3」をフロッピードライブに挿入し、<Enter> キーを押します。

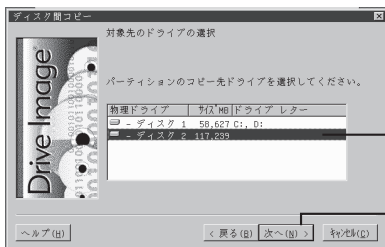
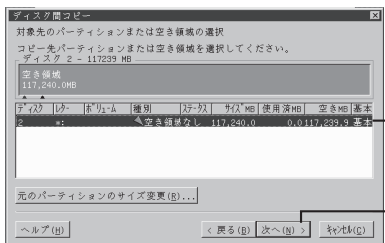
DriveImage が起動します。

4 [ディスク間コピーの実行] をクリックします。

5

6

メモ　**一部のパーティションをコピーする場合は、コピーするパーティションのみにチェックマークを付け、[次へ] をクリックしてください。**

7

8

⚠注意 コピー先のパーティションまたはドライブに、コピー元パーティションの容量と同サイズもしくはそれ以上の空き容量が必要です。

9 コピー先パーティションの容量がコピー元よりも大きい場合は、「選択されたパーティションを復元すると未割り当ての領域が残ります。よろしいですか：」というメッセージが表示されます。次のいずれかのオプションを選択して[OK]をクリックします。

- サイズを自動的に変更して復元 / コピーする.. コピー先のパーティションサイズを自動的に大きくし、空き領域を無くします。
- 元のサイズで復元／コピーする.................. パーティションサイズをコピー元と同じにします。
- サイズを手動で変更して復元／コピーする....... 手動でパーティションのサイズを指定できます。

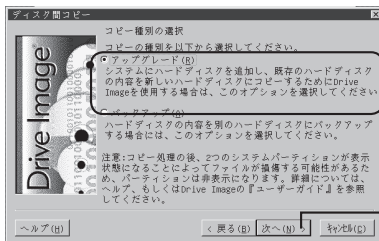
10 [アップグレード] を選択します。

⚠注意 [アップグレード] と [バックアップ] について
[アップグレード] は、通常、コピー先のハードディスクを起動ドライブにする場合に選択します。[アップグレード] 終了後は、コピー先のハードディスクが起動ドライブとなります。
[バックアップ] は、通常、コピー先のハードディスクを起動ドライブにしない場合に選択します。[バックアップ] 終了後も、コピー元のハードディスクが起動ドライブとなります。

メモ バックアップ後に、コピー先のハードディスクから起動する場合は、DriveImageの緊急ディスクが必要になります。コピーを行う前に、P25「フロッピーディスクにインストールする方法」を参照して、起動ディスクを作成してください。
バックアップ後に、コピー先のハードディスクから起動する手順は、P31「手順 10 で「バックアップ」を選択した場合」を参照してください。

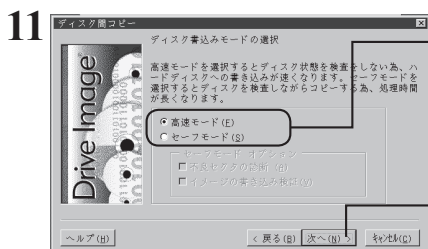
次のページへ続く

B

パソコン内蔵のハードディスクと入れ替える

①［アップグレード］を選択します。
詳細はヘルプを参照してください。

②［次へ］をクリックします。

⚠注意 Master に設定したハードディスク（お使いのハードディスク）全体を、Slave に設定したハードディスク（本製品）に［アップグレード］した場合、本製品から起動するには、コピー後にジャンパスイッチを変更して、本製品を Master に設定する必要があります。

11

①［高速モード］または［セーフモード］を選択します。
通常は、［高速モード］を選択します。
各モードの詳細はヘルプを参照してください。

②［次へ］をクリックします。

12 ［ディスク間コピーの準備ができました］画面が表示されたら、［完了 (F)］をクリックします。

コピーが開始され、経過時間と残り時間が表示されます。

13 コピーが終了すると、「選択したパーティションは正常にコピーされました。結果を見ますか？」というメッセージが表示されます。コピー先ドライブのパーティション情報を確認したいときは［はい］をクリックします。

［いいえ (N)］をクリックしたときは、手順 **15** に進んでください。

14 ドライブ情報を確認したら、［閉じる］をクリックします。

15 フロッピードライブから起動ディスクを取り出して、［終了］をクリックしてください。パソコンの電源スイッチを OFF にします。

16 コピー元のハードディスクを使用する / しないによって、必要な作業が異なります。

● コピー元ハードディスクを増設用として使用したい場合
コピー先のハードディスクをパソコンのプライマリのマスタに取り付けてください。コピー元のハードディスクは、それ以外 (プライマリのスレーブまたは、セカンダリのマスタ、スレーブ) に接続し、フォーマットしてください。

● コピー元ハードディスクを使用しない場合
コピー先のハードディスクをプライマリのマスタに接続します。

手順 10 で「バックアップ」を選択した場合

特に必要な作業はありません。ただし、コピー先のハードディスク (バックアップ先のハードディスク) を起動ドライブとして使用する場合は、以下の操作が必要です。

① コピー先のハードディスクをパソコンのプライマリのマスタに取り付けます。このとき、コピー元のハードディスクは取り外してください。
② DriveImage の緊急ディスクを使って、DriveImage を起動します。
③ DriveImage が起動したら、[ツール]-[パーティションの表示 / 非表示] の順に選択します。
④ [表示] をクリックします。
⑤ [閉じる] をクリックします。
⑥ [ツール]-[アクティブパーティションの設定] の順に選択します。
⑦ [アクティブ設定] をクリックします。
⑧ [閉じる] をクリックします。
⑨ [終了] をクリックします。
⑩ [コンピュータの再起動] 画面が表示されたら、パソコンの電源スイッチを OFF にします。

非表示になったパーティションを再度表示する方法

手順 10 で選択した、[アップグレード] や [バックアップ] によって非表示になったパーティションを、再度表示させる場合は、次の操作を行ってください。

① DriveImage の緊急ディスクを使って、DriveImage を起動します。
② DriveImage が起動したら、[ツール]-[パーティションの表示 / 非表示] の順に選択します。
③ 表示させたいパーティションをクリックします。
④ [表示] をクリックします。
⑤ [閉じる] をクリックします。
⑥ [終了] をクリックします。
⑦ パソコンを再起動します。

以上で、パーティションが表示されるようになります。

メモ ・1 パーティション（FAT16）で使用しているドライブを 2.1GB 以上のハードディスクにコピーした場合、2.1GB 以上の領域は確保されません。残りの領域は、Disk Formatter でフォーマットして使用してください。また、Windows98 を使用している場合は、Windows98 付属の「ドライブコンバータ (FAT32)」で FAT16 から FAT32 に変換できます。コピー元のドライブを事前に FAT32 にしておけば、2.1GB 以上の領域も確保された状態でコピーできます。

以上でコピーは完了です。

次のページへ続く

OS をインストールする

OS を新規にインストールする手順を説明します。

メモ ・詳しい手順は OS のマニュアル、またはパソコンのマニュアルを参照してください。
・本製品を起動ドライブにしない場合は、OS をインストールする必要はありません。フォーマットだけを行ってください。

137GB 以上の製品をお使いの方へ（WindowsXP/2000 のみ）

137GB 以上の製品をお買い上げの場合は、OS をインストールした後に必ず P7 を参照して添付のユーティリティを実行してください【「137GB 以上の製品をお買い上げの方へ」(P7)】。添付のユーティリティを実行せずにファイルの操作やアプリケーションのインストールなどを行うと、データが破損・消滅する恐れがあります。

パソコン付属の CD-ROM からインストールする

パソコン付属の CD-ROM（リカバリ CD など）からのインストール手順はパソコンのマニュアルを参照してください。

メモ OS をインストールした後、ハードディスク内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。【オンラインマニュアル】

OS の CD-ROM からインストールする

インストールする OS によって手順が異なります。OS のマニュアルを参照してインストールを行ってください。

メモ オンラインマニュアルの第 2 章「OS のインストール」にも手順の概要を記載しています。OS のマニュアルとともにお読みください。

第二部　付属 CD の使いかた

第二部は、付属のユーティリティ CD に収録されている Windows 用ユーティリティの概要、動作環境、インストール方法、使用例を説明しています。ユーティリティを使用するときは必ずお読みになり、付属ユーティリティの機能を理解してください。また、ユーティリティにより動作環境が異なりますので、注意してください。

FOR Windows

このユーティリティは Windows 専用版です。Mac ではお使いになれませんのでご注意ください。

PowerQuest Corporation 基本ソフトウェア使用許諾契約書

本契約書は､｢エンドユーザー｣と PowerQuest Corporation との間で交す法的な契約書です。同封のソフトウェアを使用することにより、本契約書の各条項に同意したことになります。「ソフトウェア」とは、本契約書が添付された CD、またはディスクに入っている PartitionMagic Special Edition ソフトウェアを意味し、パーソナルライセンスで許諾範囲を定義しています。しかし､PowerQuest 以外の第三者のソフトウェアは含まれません。

本契約書の各条項に同意されない場合には、返品または廃棄してください。返品する際は、CD またはディスク媒体、他の同封物を含む PartitionMagic パッケージを未使用のまま、直ちに購入した所に返品してください。

1. 所有権｡ソフトウェアと付随する関連書類は､PowerQuest Corporation（以下｢PowerQuest｣と言います）またはその使用許諾者の所有物であり、アメリカ合衆国著作権法および国際条約によって保護されています。ソフトウェアの所有権、いかなる複製物、修正物、組込み部分も、PowerQuest またはその使用許諾者が保有します。
2. 使用許諾。ソフトウェアと付随する関連書類を使用許諾しますが、本契約書に従ってソフトウェアを使用する権利を得ることを意味します。PowerQuest は、本契約書で指定した数のソフトウェアを、特定のコンピュータ上で使用する権利を許諾します｡ソフトウェアを一時的にメモリにロードしたり、永続的にメモリにインストールすると、ソフトウェアをコンピュータ上で使用したとみなされます。
3. 複製物の数。バックアップ目的に一部複製することができます。但し、著作権表示をそれぞれの複製物に記載しなければいけません。
4. 特定のコンピュータへの使用許諾｡ソフトウェアは､貴方が所有､貸借する特定の１台のコンピュータ（ネットワークに接続、非接続に関係なく）上で使用できます。一旦、１台のコンピュータ上でソフトウェアを使用すると、他のコンピュータ上で使用することはできません。但し、最初にソフトウェアをインストールしたコンピュータからソフトウェアを削除し､永久にそのコンピュータを使用しない場合（例えば､売却、破壊、または譲渡した場合）はその限りではありません。ソフトウェアをネットワーク上で使用する場合には、貴方がライセンスを購入した数の特定のコンピュータからのみ使用できます。許諾された数以上のコンピュータからソフトウェアを使用したい場合には、追加のライセンスを購入しなければいけません。
5. パーソナルライセンス。このライセンスはエンドユーザ専用であり、ソフトウェアと関連書類を、第三者にサブライセンス、貸与、売却、もしくは譲渡できません。個人の場合は自身の使用目的に限り、法人の場合は社内的な業務目的に限り、ソフトウェアを使用できます。
6. 使用制限。PowerQuest の許諾が無い限り、以下のことは行なえません。
   (a) 本契約書で許諾された範囲外で、ソフトウェアと関連書類を使用、複製、改造、修正、電子的または他の方法で転送すること。
   (b) ソフトウェアを翻訳、リバースプログラム、逆アセンブル、デコンパイル、またはその他の方法でリバースエンジニアリングすること。
7. 契約解除。本契約書は、購入した日から、解除日まで効力を有します。また、ソフトウェアと関連書類､これらの複製物をすべて廃棄することにより､何時でも解除することができます。
8. 輸出制限。輸出およびコンピュータソフトウェアの最終ユーザーに関してのアメリカ合衆国の条例による規制の下で、ソフトウェアの使用が許諾されています。1979 年の輸出管理条例に限らず、随時改訂され、公表されているアメリカ合衆国の関連条例および法規に対して同意するものとします。
9. アメリカ合衆国政府が制限されている権利。ソフトウェアをアメリカ合衆国政府の省庁、またはその機関に代わって取得する場合には、以下の規定が適用されます：ソフトウェアと関連書類がプライベートな費用で開発されていること、いかなる部分もパブリックドメインからの流用ではないこと、ソフトウェアと関連書類が制限された権利と共に供給されていること。政府が使用、複製、または開示を行なう場合は、DFARS 第 252.227-7013 の条項に定める技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利の補節 (c)(1)(ii)、また、48 CFR 第 52.227-19 に定める商用コンピュータソフトウェアー制限された権利の補節 (c)(1) および (2) の規制に従うものとします。契約者／製造元は、PowerQuest Corporation/PO Box1911/Orem, UT 84059-1911 です。

10. 限定保証。

(a) PowerQuest は、エンドユーザーに対して、(i) 第三者のソフトウェアを除き、ソフトウェアが付随する関連書類通りに動作すること、(ii) ソフトウェアがディスク媒体に正確に記録されていることを保証します。この限定保証は、購入日から 90 日間効力を有します。PowerQuest は、ソフトウェアに含まれる第三者のソフトウェアに対する保証はしませんが、その所有者またはその使用許諾者が許諾している範囲での保証を、貴方に伝えることに同意しています。

(b) この限定保証は、本契約書やソフトウェアと付随する関連書類に含まれる指示以外による改造、破損、誤用、濫用または使用には適用しません。

(c) この限定保証の下での PowerQuest の賠償責任および補償の範囲は、PowerQuest の選択によりこの限定保証を満たさないソフトウェアの修正もしくは交換、あるいは、ソフトウェアの購入価格の返済に限定されます。但し、ソフトウェアが、保証期間内に領収書のコピーと共に、PowerQuest または PowerQuest の代理店に返還されない場合は、PowerQuest はその責任を負いません。交換した場合の保証期間は、元の保証期間の残日数または 30 日のいずれか長期の日数とします。

(d) 本保証は、ここに明示的に定めていない全ての保証を除外します。明示、黙示を問わず、市場性や特定目的への適合性に関する保証、商慣習や取引による保証も除外されます。

(e) この保証は、明確な法的権利を賦与するものであり、州毎に異なる部分も含めて権利を行使することができます。

11. 責任の制限。ソフトウェアに関する PowerQuest の賠償責任は、貴方がソフトウェアに対して実際に支払ったライセンス料を超えることはありません。限定保証の規定内での購入代金の返済を除き、ソフトウェアの使用または使用不能に起因する、直接、間接、特別、付随的・間接的損害、並びに営業利益の逸失、営業の中断、営業情報の逸失、その他の逸失利益について、また PowerQuest がかかる損害の可能性について通知を受けていた場合であっても、さらに、付随的・間接的損害に対する上記の責任の制限や免除を認めない州があることから、かかる責任が契約上、保証上、また法及び衡平法上の根拠を持つか否かに拘わらず、PowerQuest およびその販売店は、一切の責任を負いません。

12. 完全な合意。本契約書は、対象条項に関する貴方と PowerQuest 間の完全な合意を構成するものです。本契約書はユタ州法が適用されます。本契約書に起因するいかなる訴訟も、ユタ州の州裁判所または同州にある連邦裁判所でのみ履行されるものとします。

詳細：本使用許諾契約に関する質問がある場合は、PowerQuest か、日本総代理店まで書面にて連絡してください。

1359 North Research Way, Building K,　Orem Utah 84097 U.S.A.

日本総代理店：(株) ネットジャパン／〒 101-0032 東京都千代田区岩本町 2-18-3

U.S. Patents 5.675.769, 5,706,472, other Patents Pending.

製品に関するお問い合わせは下記にお問い合わせください。

株式会社バッファロー サポートセンター
〒 457-8520　名古屋市南区柴田本通 4-15 株式会社バッファロー

東京　03-5781-7260

月〜金　9:30 〜 19:00
土　9:30 〜 18:00

名古屋　052-619-1188

月〜金　9:30 〜 17:00　＊祝日を除く

ユーティリティのマニュアルを読むには

付属 CD には、マニュアル（PDF ファイル）が収録されています。このマニュアルを読むためには Acrobat Reader が必要です。パソコンに Acrobat Reader がインストールされていない場合は、付属 CD を使ってインストールしてください。

Acrobat Reader のインストール

パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットすると、簡単セットアップが起動します。「Acrobat Reader のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

※ インストーラが起動しないときは、デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックし、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

マニュアルの読みかた

メモ
- **画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。**
- **Acrobat Reader の詳しい使いかたは、インストール後に［ヘルプ］－［Acrobat のヘルプ］を参照してください。**

● Disk Formatter

「簡単セットアップ」の画面から「Disk Formatter のマニュアルを見る」を選択し、[開始] をクリックします。

● DriveImage

ユーティリティ CD 内の「DImage」-「DOCS」フォルダを開き、「DI5.pdf」ファイルをダブルクリックします。

※「DOCS」フォルダに収録されている「ERRORS.pdf」もあわせてお読みください。

● PartitionMagic 7.0

ユーティリティ CD 内の「Pmagic」-「DOCS」フォルダを開き、「Pm7.pdf」ファイルをダブルクリックします。

※「DOCS」フォルダに収録されている「basic.pdf」、「operate.pdf」もあわせてお読みください。

● SecureLockWare（WindowsXP/2000 のみ）

「簡単セットアップ」の画面から「SecureLockWare のマニュアルを見る」を選択し、[開始] をクリックします。

ユーティリティの概要

Acrobat Reader

● できること

各ユーティリティのマニュアル（PDF ファイル）を見るときに使用します。

● 動作環境

・ 対応機種：　DOS/V 機、PC98-NX シリーズ
・ 対応 OS:　WindowsMe（Millennium Edition）/98SE（Second Edition）/98/95
　WindowXP/2000/NT4.0（※）
・ CPU:　Pentium 以上
・ メモリ：　64MB 以上
・ ハードディスクの空き容量：　24MB 以上

※ WindowsNT4.0 では、ServicePack5 以降および Internet Explorer 4.0.1 以降が必要です。

DriveImage

● できること

・ ハードディスクの内容をそのまま他のハードディスクにコピーできます。
・ 一部のパーティションだけを選んでコピーすることもできます。
・ Windows や DOS で使用しているファイルシステム（FAT、FAT32、NTFS）のパーティションをコピーできます。
・ ハードディスク上のシステムファイルを使用することなく、確実に動作します。

詳しい操作方法は、付属 CD に収録されている DI5.PDF ファイルを参照してください。

● 動作環境

・ 対応機種：　DOS/V 機、PC98-NX シリーズ
・ 対応 OS(※):　WindowsMe（Millennium Edition）/98SE（Second Edition）/98/95
　WindowsXP/2000/NT4.0（SP4 以降）
・ CPU:　Intel486 以上
・ メモリ：　32MB 以上（6GB 以上の FAT32 パーティションでは 48MB 以上）
・ ハードディスクの空き容量：　26MB 以上

※ マニュアル（PDF ファイル）中には OS/2 や Linux の記述がありますが、本製品では動作保証していません。あらかじめご了承ください。

⚠注意
・SCSI BIOS を搭載していない SCSI インターフェース（ノートパソコン用 PC カード、弊社製 IFC-NSP、Adaptec 製 AHA-2910B など）に接続したハードディスクに対しては、DriveImage を使用できません。

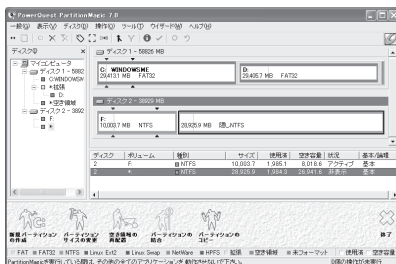
・USB/IEEE1394 シリアルバスで接続したハードディスクに対しては、DriveImage を使用できません。

・Windows2000 を使用している場合、DriveImage のパーティションを非表示にする機能が働きません。DriveImage 上でパーティションを非表示に設定しても、Windows2000 上ではそのパーティションが表示されます。

PartitionMagic 7.0

● できること

・ハードディスク内のデータはそのままで、パーティション（領域）の作成やサイズ変更、移動が可能です。データの削除や、FDISKでパーティションを作成し直す必要はありません（FAT、FAT32、NTFSのパーティションに対応しています）。
・パーティションのラベルを設定できます。
・汎用的なシステム診断ができます。
・データの完全な消去ができます。

メモ PartitionMagicを使用する前に、パーティションを変更するハードディスクのバックアップを作成することをおすすめします。

詳しい操作方法は、パソコンにインストールされるPm7.pdfファイルを参照してください。

● 動作環境

・対応機種：　DOS/V機、PC98-NXシリーズ
・対応OS(※)：WindowsMe（Millennium Edition）/98SE（Second Edition）/98/95
WindowsXP/2000/NT4.0（Service Pack4以降）
・CPU：　Intel486DX以上
（WindowsMe/2000ではPentium150MHz以上、WindowsXPではPentium II 300MHz以上）
・メモリ：　32MB以上（WindowsXP/2000では128MB以上）
・ハードディスクの空き容量：　54MB以上

※ マニュアル（PDFファイル）中にはOS/2やLinuxの記述がありますが、本製品では動作保証していません。あらかじめご了承ください。

⚠注意
・SCSI BIOSを搭載していないSCSIインターフェース（ノートパソコン用PCカード、弊社製IFC-NSP、Adaptec製AHA-2910Bなど）に接続したハードディスクに対しては、PartitionMagicを使用できません。
・USB/IEEE1394シリアルバスで接続したハードディスクに対しては、PartitionMagicを使用できません。
・DriveImageやPartitionMagic使用中に何か問題が発生すると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、付属CDに収録されているマニュアル（PDFファイル）を参照し、対処してください。マニュアルに記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、ネットジャパン社のホームページを参照してください。

●ネットジャパン社ホームページ
http://www.netjapan.co.jp/

●サポート資料検索ページ
http://www.netjapan.co.jp/doc/idx_r_supfnd.html

● PowerQuest製品エラーリストページ
http://www.netjapan.co.jp/P_powerquest/support/error/errorlist.html

SecureLockWare（WindowsXP/2000 のみ）

⚠注意 本製品に OS をインストールした場合は、SecureLockWare を使用できません。

WindowsXP/2000 専用 AES 暗号化ソフトです。SecureLockWare で本製品にパスワードを設定しておけば、本製品に書き込まれるすべてのデータが自動的に暗号化されます。本製品に記録されたデータの読み出しには、パスワードが必要になるため、万一、紛失や盗難にあった場合でも外部へのデータ流出を防ぐことができます。

使いかたは、SecureLockWare のマニュアルを参照してください。SecureLockWare のマニュアルは、簡単セットアップ（ユーティリティ CD をパソコンにセットすると表示するメニュー）から表示できます。

ユーティリティのインストール

Disk Formatter

1　パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、[マイ　コンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2　「Disk Formatter のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

DriveImage

DriveImage のインストール方法および使い方は、「パソコン内蔵のハードディスクと入れ替える」(P24) を参照してください。

PartitionMagic 7.0

● 事前に、WindowsXP/Me/98SE/98/95/2000/NT4.0 のいずれかをインストールしてください。DOS のみの環境に、PartitionMagic をインストールすることはできません。また、フロッピーディスクへインストールする場合は、1.44MB でフォーマットしたフロッピーディスクを 3 枚用意してください。緊急ディスケットの作成に使用します。

1　パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、[マイ　コンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2　「PartitionMagic のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

SecureLockWare(WindowsXP/2000 のみ)

1　パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。

簡単セットアップが起動します。
簡単セットアップが起動しないときは、[マイ　コンピュータ] アイコンをダブルクリックし、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2　「SecureLockWare のインストール」を選択し、[開始] をクリックします。

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

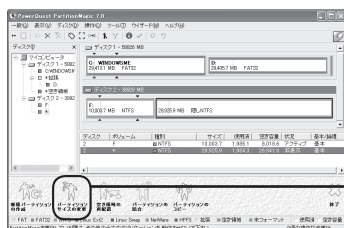
ユーティリティの使用例

既存のパーティション（領域）のサイズを変更する（PartitionMagic 7.0）

ハードディスクをフォーマットすることなく（データを残したままで）、パーティションの作成やサイズの変更ができます。

メモ 起動しているアプリケーションは、事前にすべて終了してください

1 **［スタート］－［（すべての）プログラム］－［PowerQuest Partition-Magic 7.0］－［PartitionMagic 7.0］を選択します。**

2

［パーティションサイズの変更］をクリックします。

以降は、画面の指示に従って操作を行ってください。

本製品を破棄または譲渡したい（データを完全に消去したい）

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全に消去されていません。破棄や譲渡の際にデータが流出するおそれがあります。ハードディスクを破棄・譲渡するときは、以下の手順でデータを完全に削除することをお勧めします。

メモ 起動しているアプリケーションは、事前にすべて終了してください

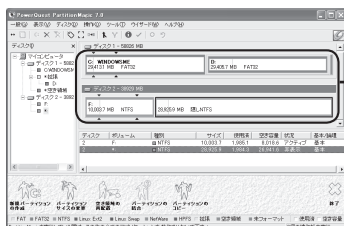
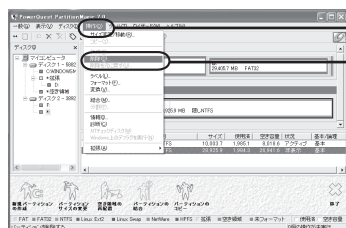
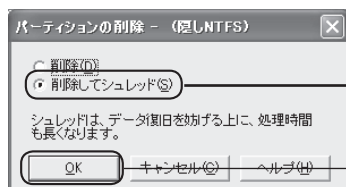
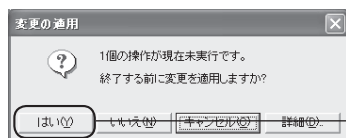
1 **［スタート］－［（すべての）プログラム］－［PowerQuest Partition-Magic 7.0］－［PartitionMagic 7.0］を選択します。**

2

3

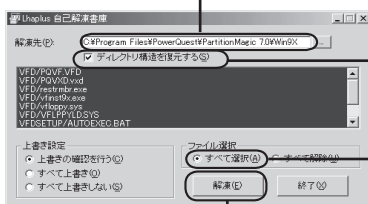
4

5

6

データの消去が始まります。以降は画面に従って操作してください。

困ったときは

おもなトラブルと対処方法について説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

PartitionMagic を使用中に「WindowsMe をサポートするためのファイルがインストールされていません。（略）」と表示される（WindowsMe のみ）

お使いの環境によっては、「WindowsMe をサポートするためのファイルがインストールされていません。PartitionMagic 6.0 の CD を再インストールすると、この問題は解決します。」と表示されることがあります。このメッセージが表示された場合、以下の手順を行ってください。

⚠注意 画面には PartitionMagic 6.0 の CD を再インストールすると記載されていますが、再インストールしても解決されません。必ず以下の手順を行ってください。

1 ユーティリティ CD 内の「Pmagic」-「Rescueme」-「VFDFIX」フォルダを開き、「pm70vfd.exe」を C:¥Program Files¥PowerQuest¥PartitionMagic 7.0¥Win9X へコピーします（下線部は、PartitionMagic をインストールしたフォルダ）。

2 コピーした「pm70vfd.exe」をダブルクリックします。

問題を解決するために必要なファイルを解凍するためのソフトが起動します。

3

① C:¥Program Files¥PowerQuest¥PartitionMagic 7.0¥Win9x（下線部は、PartitionMagic をインストールしたフォルダ）を指定します。

② [ディレクトリ構造を復元する] にチェックマークがついていることを確認します。

③ [すべて選択] にチェックマーク（・）がついていることを確認します。

④ [解凍] をクリックします。

以上で完了です。[終了] をクリックしてウィンドウを閉じてください。

DriveImage や PartitionMagic でのトラブルを解決したい

DriveImage や PartitionMagic 使用中に何か問題が発生すると、エラーメッセージが表示されます。この場合は、付属 CD に収録されているマニュアル（PDF ファイル）を参照し、対処してください。マニュアルに記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、以下のネットジャパン社のホームページを参照してください。ネットジャパン社のホームページを参照してもトラブルが解決しない場合は、弊社サポートセンター（本書裏表紙参照）へお問い合わせください。

● ネットジャパン社ホームページ
http://www.netjapan.co.jp/

● サポート資料検索ページ
http://www.netjapan.co.jp/doc/idx_r_supfnd.html

● PowerQuest 製品エラーリストページ
http://www.netjapan.co.jp/P_powerquest/support/error/errorlist.html

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
付属の PartitionMagic を使用してデータを完全に消去するか (P41)、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

※ ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。

ハードディスクユーザーズマニュアル
&付属 CD の使いかた
2005 年 8 月 8 日 第 6 版発行
発行　　株式会社バッファロー

お問い合わせ・修理窓口

お問い合わせ、修理については、以下の順にてお願い致します。

1 マニュアル、オンラインガイドにて設定内容・トラブルシューティングをご確認ください。

2 弊社ホームページにて最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェアをご確認ください。

インターネット

製品情報　buffalo.jp
サポート情報　86886.jp（ハローバッファロー）

3 上記で改善しない場合は、次の窓口にお問い合わせください。
バッファローサポートセンター

お問合せの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号のお掛け間違いがないようご注意ください。

【電話窓口】

電話番号 （東　京） 03-5781-7260　月〜金　9:30-19:00　土　9:30-18:00
電話番号 （名古屋） 052-619-1188　月〜金 （祝日除く） 9:30-17:00

手紙でのお問い合わせ先　住所　〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15

4 修理は、以下へご依頼ください。　※修理に送られる際、弊社への事前連絡は不要です。
バッファロー修理センター

保証書について　修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約　弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
http://buffalo.jp/shuri/
送付先住所　〒456-0023　愛知県名古屋市熱田区六野二丁目１番３号　中京倉庫２７号棟
株式会社バッファロー修理センター　受付宛
電話番号　052-883-0570　※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
送付いただく物　本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理票(*)
*修理票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理票添付が困難な場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】

※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、Link Stationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去します。修理完了後、再度設定が必要となりますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。

5 ユーザ登録について
弊社ホームページ（https://online.buffalo.jp/）ユーザ登録が可能です。
※ユーザ登録された方には、弊社製品に関する情報をお届けします。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
②平日昼間の連絡先（氏名・住所・電話番号(内線)・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境(パソコン機種名、OS(Windows XP等)、周辺機器)
⑧製品以外の添付品(ACアダプタ、ケーブルなど)

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.